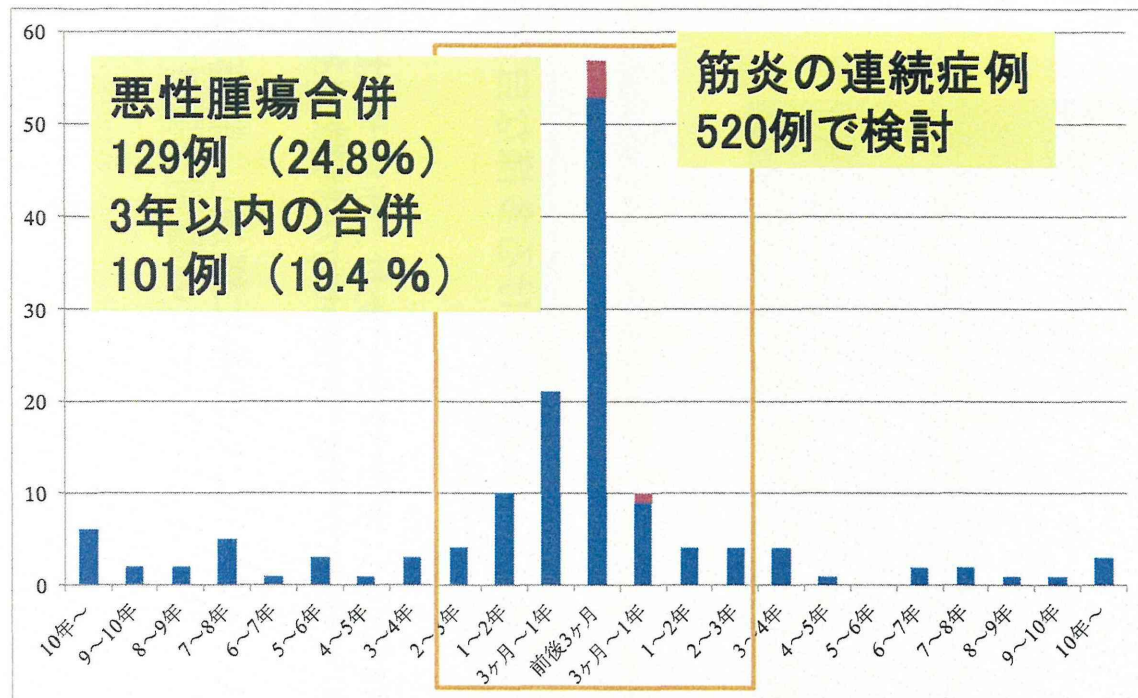


悪性腫瘍関連筋炎の疫学・臨床病理像の統合的検討



全147癌

胃癌23、肺癌20、乳癌19、大腸癌14

標準化罹患比(SIR)

筋炎7.4 (5.9～9.3)

多発筋炎5.7 (3.9～8.1)

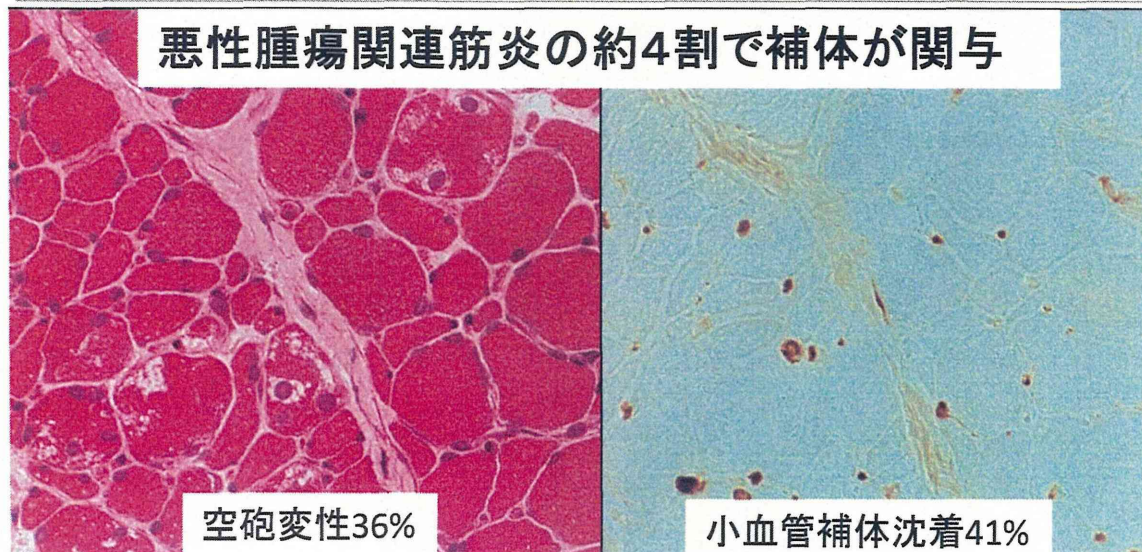
皮膚筋炎12.4 (8.5～17.5)

抗Tif1- γ 抗体(悪性腫瘍マーカー)

筋炎全体の13%に出現、

95%は3年以内に悪性腫瘍合併

悪性腫瘍関連筋炎の約4割で補体が関与

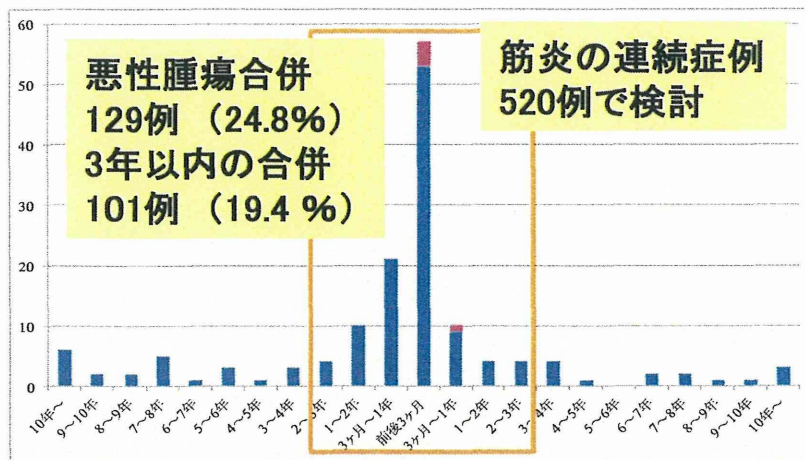


臨床像の特徴

高齢、短期間で増悪、嚥下困難が
高頻度($p < 0.01$)

関節炎、筋萎縮、間質性肺炎、
膠原病の合併が低頻度 ($p < 0.01$)

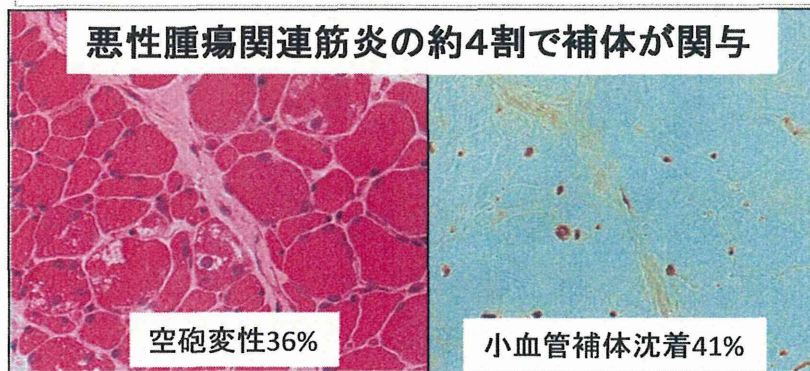
悪性腫瘍関連筋炎の疫学・臨床病理像の統合的検討



全147癌
胃癌23、肺癌20、乳癌19、大腸癌14

標準化罹患比(SIR)
筋炎7.4 (5.9~9.3)
多発筋炎5.7 (3.9~8.1)
皮膚筋炎12.4 (8.5~17.5)

抗Tif1- γ 抗体(悪性腫瘍マーカー)
筋炎全体の13%に出現、
95%は3年以内に悪性腫瘍合併



臨床像の特徴
高齢、短期間で増悪、嚥下困難が
高頻度($p < 0.01$)

関節炎、筋萎縮、間質性肺炎、
膠原病の合併が低頻度($p < 0.01$)

解説

- 1) 筋炎の連続症例520例で悪性腫瘍の合併を検討
- 2) 筋炎の24.8%で悪性腫瘍が合併、19.4%が3年以内
- 3) 標準化罹患比は皮膚筋炎で高値だが多発筋炎でも高値
- 4) 悪性腫瘍のマーカーTif1 γ 抗体の出現は13%

陽性例では95%は3年以内に悪性腫瘍を合併

- 5) 悪性腫瘍関連筋炎の約4割で補体が関与

本邦で最大の疫学検討

筋炎の病体解明の突破口になることが期待できる

